

第 7 章 參考資料

第1節／災害対応の時系列

今回の地震における北陸地方整備局の発災から対策本部、対策支援本部体制解除までの主な動きを表7-1-1に時系列で示す。

表7-1-1 北陸地方整備局の主な動き

時間	種類	主な動き
3月25日(日)		
9:42 [*]	石川県能登半島で震度6強、M6.9の地震発生	北陸地方整備局災害対策本部、災害対策支援本部を設置 地震災害、災害支援の非常体制を発令(管内の3支部が非常体制、6支部が警戒体制、11支部が注意体制を発令)
10:30		直轄国道の巡視点検開始(穴水道路通行止め)
10:40		石川県へ情報収集要員派遣
10:42		能登有料道路通行止め
11:07		富山防災センターから先遣隊出発
12:10		富山防災センターから対策本部車出発
12:15		金沢河川国道事務所から衛星通信車出発
12:30		防災ヘリ「ほくりく号」による被害状況調査を開始
12:40		石川県砂防課より応援要請、湯沢砂防事務所から3名派遣
13:10		近畿地整保有の防災ヘリ「きんき号」による被害状況調査を開始
14:20		富山防災センターから衛星通信車が出発
14:25		富山防災センターから照明車が出発
14:40		上越防災支援センターから衛星通信車、照明車が出発
15:30		直轄河川は点検の結果、異常がないことを確認
15:45		富山河川国道事務所から照明車2台が出発
18:11	石川県能登半島で震度5弱、M5.3の余震発生	
18:37		新潟防災センターから照明車が出発
18:55		高田河川国道事務所から照明車2台が出発
19:50		新潟防災センターから橋梁点検車が出発
20:05		金沢河川国道事務所から照明車が出発 吉田国土交通省政務官現地調査(3月25日～26日) 本省災害調査団が現地調査(3月25日～26日)
3月26日(月)		
3:40		富山防災センターから待機支援車が出発
6:30		穴水道路の応急復旧完了、通行止め解除
7:16	石川県能登半島で震度4、M5.3余震発生	
14:40		地震災害の体制を警戒体制に移行。災害支援は非常体制を継続
14:46	石川県能登半島で震度5弱、M4.8余震発生	
18:02	石川県能登半島で震度4、M4.4の余震発生	能登空港の24時間運用開始 仮設トイレ30台を輪島市に設置
3月27日(火)		
13:40		新潟防災センター、上越防災支援センターから対策本部車、待機支援車が出発 石川県より合同対策本部会議に出席要請 平沢内閣府副大臣現地視察

^{*}後に気象庁は地震発生時刻を9:41に訂正

7-1 災害対応の時系列

時間	種類	主な動き
3月28日(水)		
8:08	石川県能登半島で震度5弱、M4.9の余震発生	
13:05	石川県能登半島で震度4、M4.7の余震発生	
13:15		新潟防災センターから衛星通信車が出発 石川県災害対策本部会議へ参加 災害対策現地支援センターを輪島市に設置 石川県、輪島市合同対策本部にオブザーバーとして、支援センター長が参加
3月29日(木)		
		建築物被害調査支援(3月29日) 下水道被害調査支援(3月29日) 道路関係災害緊急調査支援(3月29日~31日) 港湾施設復旧技術支援(3月29日~30日)
3月30日(金)		
		のと鉄道が始発より運転再開 冬柴国土交通大臣現地視察
3月31日(土)		
		市道(輪島市門前町市域)の緊急調査成果を輪島市長に引き渡し
4月1日(日)		
		沓掛参議院議員現地視察
4月2日(月)		
		衆議院災害対策特別委員会現地視察
4月3日(火)		
		石川県が国土交通大臣に被害額等について災害報告書により報告
4月4日(水)		
9:10		新潟防災センター、富山防災センターから遠隔操縦式バックホウが出発 七尾市、穴水町関連施設災害緊急調査支援(4月4日~6日)
4月5日(木)		
16:30		富山防災センターから可搬式照明装置が出発
4月6日(金)		
15:18	石川県能登半島で震度4、M4.5の余震発生	
4月9日(月)		
13:12		上越防災支援センターから遠隔操縦式バックホウが出発
4月10日(火)		
11:20		信濃川河川事務所から照明車2台が出発 災害査定申請書作成支援(4月10日~15日)
4月13日(金)		
		安倍総理大臣が被災地を視察
4月24日(火)		
18:00		地震災害の体制を注意体制に移行。災害支援体制を警戒体制に移行 災害対策現地支援センター廃止
4月25日(水)		
		能登半島地震復旧・復興支援センターを設置
4月27日(金)		
		能登有料道路通行止め解除
5月2日(水)		
20:42	石川県能登半島で震度4、M4.6の余震発生	
7月7日(土)		
12:00		国道249号 八世乃洞門通行止め解除
8月1日(水)		
8:30		地震災害、災害支援の体制を解除

第2節／職員の参集状況

1. 本局

地震発生直後本局職員の参集状況について、時系列にまとめたものを図7-2-1に示す。本局災害対策室への参集者数は、発災後1時間以内で216人、本局職員の約45%が参集、情報収集等災害対応を行った。

なお、平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震の際の参集率は、発災後1時間以内で約20%であった。

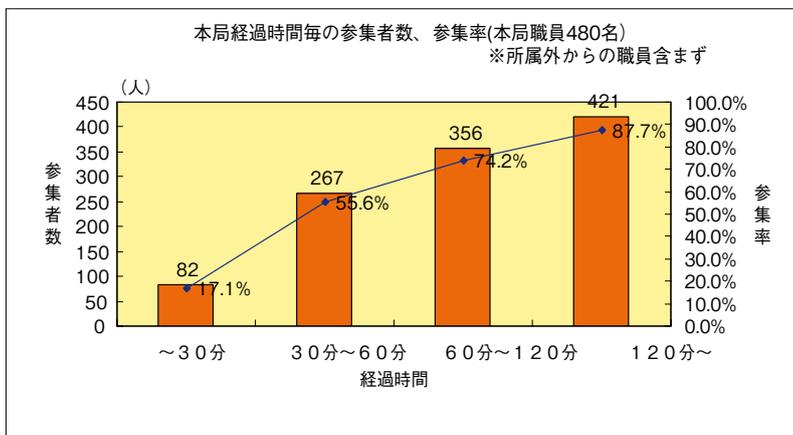


図7-2-1 参集状況(本局)



写真7-2-1 災対室での対応状況

2. 事務所・管理所

非常体制を発令した支部の参集状況は、発災後1時間以内で各事務所職員の約50%以上が参集、情報収集等災害対応を行った。

表7-2-1 事務所・管理所職員の参集状況

(単位: 人)

事務所名	職員数	震度階	支部体制	地震発生から参集までの所要時間			
				所属職員			
				~30分	~60分	~120分	120分~
高田	114	4	注意	20(17.5%)	43(37.7%)	53(46.5%)	61(53.5%)
羽越	46		平常	参集なし			
信濃川	89	5弱	警戒	5(5.6%)	30(33.7%)	32(36.0%)	32(36.0%)
信濃川下流	57	4	注意	8(14.0%)	19(33.3%)	26(45.6%)	29(50.9%)
阿賀野川	43	4	注意	5(11.6%)	9(20.9%)	19(44.2%)	19(44.2%)
湯沢	38	4	注意	9(23.7%)	14(36.8%)	16(42.1%)	19(50.0%)
長岡国道	107	4	警戒	19(17.8%)	25(23.4%)	37(34.6%)	40(37.4%)
新潟国道	130	4	注意	17(13.1%)	32(24.6%)	36(27.6%)	40(30.8%)
富山	177	5弱	警戒	25(14.1%)	66(37.3%)	96(54.2%)	124(70.1%)
黒部	48	4	注意	13(27.1%)	19(39.6%)	26(54.2%)	33(68.8%)
立山	31	4	警戒	2(6.5%)	8(25.8%)	19(61.3%)	23(74.2%)
利賀	26	5弱	警戒	6(23.1%)	8(30.8%)	12(46.2%)	22(84.6%)

7-2 職員の参集状況

事務所名	職員数	震度階	支部体制	地震発生から参集までの所要時間			
				所属職員			
				～30分	～60分	～120分	120分～
金 沢	152	6 強	非常	37(24.3%)	77(50.7%)	106(69.7%)	129(84.9%)
飯 豊	26		平常	参集なし			
横 川	31		平常	2(6.5%)	2(6.5%)	2(6.5%)	2(6.5%)
阿賀川	34		平常	参集なし			
千曲川	63		平常	7(11.1%)	10(15.9%)	11(17.5%)	11(17.5%)
松 本	37	4	注意	5(13.5%)	8(21.6%)	11(29.7%)	11(29.7%)
神通川	22	4	注意	7(31.8%)	7(31.8%)	9(40.9%)	9(40.9%)
三国川	8		平常		1(12.5%)	1(12.5%)	1(12.5%)
大 町	9		平常	参集なし			
北陸技術	46	6 強	非常	10(21.7%)	15(32.6%)	25(54.3%)	30(65.2%)
国営公園	15	4	注意	4(26.7%)	6(40.0%)	6(40.0%)	6(40.0%)
金沢営繕	12	6 強	非常	3(25.0%)	6(50.0%)	8(66.7%)	9(75.0%)
新潟港湾	108	4	注意	7(6.5%)	12(11.1%)	15(13.9%)	17(15.7%)
伏富港湾	40	5 弱	警戒	5(12.5%)	16(40.0%)	23(57.5%)	28(70.0%)
金沢港湾	31	6 強	非常	18(58.1%)	22(71.0%)	23(74.2%)	27(87.1%)
敦賀港湾	27	4	注意	1(3.7%)	3(11.1%)	3(11.1%)	3(11.1%)
新潟技調	32	6 強	非常	3(9.4%)	9(28.1%)	13(40.6%)	24(75.0%)
合計	1,599			238(14.9%)	467(29.2%)	628(39.3%)	751(47.0%)

※所属外からの参集職員含まず

第3節／ヘリコプター・災害対策用機械等の出動状況

1. ヘリコプター

災害時に迅速かつ広域的な情報収集を可能とする防災ヘリコプターは、北陸地方整備局の「ほくりく号」のほか、近畿地方整備局の「きんき号」の応援を得るなどして、被災調査等に活用された。

初動では、ほくりく号は地震発生直後に飛行準備を開始し10時15分には飛行可能であったが、天候の回復を待ち12時37分に整備局脇の防災ヘリポートから調査職員をピックアップし管内調査・ヘリテレ送信を行った。また、きんき号は天候の回復により13時25分に八尾空港を離陸し調査・ヘリテレ送信を開始した。

表7-3-1 ヘリコプターの稼働状況

月 日	機 体	飛 行 区 域		発 着 時 間		飛行時間	飛 行 内 容
		出 発	到 着	出 発	到 着		
3月25日	ほくりく号	新潟空港	石川県警	12:24	18:08	4:43	被災状況調査
	きんき号	八尾空港	富山空港	13:25	17:10	3:25	被災状況調査
	単価契約機	新潟空港	富山防災	13:05	15:37	2:30	政務官視察
	単価契約機	小松空港	小松空港	16:45	18:00	1:04	手取川上流域調査
	単価契約機	名古屋空港	富山防災	14:15	17:37	2:20	空輸
3月26日	ほくりく号	石川県警	新潟空港	7:03	17:37	5:37	被災状況調査
	きんき号	富山空港	八尾空港	8:55	18:30	6:50	被災状況調査
	単価契約機	富山防災	新潟空港	10:25	12:57	2:15	政務官視察
	単価契約機	富山防災	名古屋空港	9:38	17:10	3:40	立山カルデラ調査
	単価契約機	名古屋空港	小松空港	7:30	17:05	6:38	手取川上流域調査その他
3月27日	ほくりく号	新潟空港	新潟空港	7:50	17:18	3:52	地整局長調査
	単価契約機	名古屋空港	名古屋空港	9:05	15:45	3:10	河川局保全課補佐調査
3月28日	ほくりく号	新潟空港	新潟空港	13:16	17:51	3:38	副局長等視察
3月29日	ほくりく号	新潟空港	富山空港	15:02	16:07	1:05	大臣視察のための空輸
3月30日	ほくりく号	富山空港	新潟空港	12:23	19:31	2:56	大臣視察
4月5日	ほくりく号	新潟空港	新潟空港	9:08	16:38	3:23	企画部官視察
4月6日	ほくりく号	新潟空港	新潟空港	7:40	19:54	3:56	道路部・土研視察
4月10日	ほくりく号	新潟空港	新潟空港	9:15	16:59	3:30	道路部視察
4月11日	ほくりく号	新潟空港	新潟空港	9:09	17:39	3:35	北技所長・企画部視察
5月9日	ほくりく号	新潟空港	新潟空港	8:36	16:45	3:17	地整局長調査

飛行時間計	ほくりく号	39:32
	きんき号	10:15
	単価契約機	21:37
	合 計	71:24



写真7-3-1 ほくりく号ヘリテレ画像(輪島市竜ヶ崎)



写真7-3-2 ほくりく号ヘリテレ画像(輪島市熊野町)



写真7-3-3 きんき号ヘリテレ画像
(能登有料道路豊橋川付近)



写真7-3-4 きんき号ヘリテレ画像
(能登有料道路横田IC)

2. 災害対策用機械の出動状況

表7-3-2 災害対策用機械の出動状況

番号	事務所名	車両		期間	要請者 及び要請時間	出動場所	出動理由
		名称	規格				
①	金沢河川国道事務所	衛星通信車 (8-2-41)		H19. 3. 25~H19. 4. 27	直轄 3/25 11:40	輪島市役所	現地状況通信のため
②	富山防災センター	対策本部車 (08-4405)	拡幅型	H19. 3. 25~H19. 4. 27	直轄 3/25 11:40	輪島市役所 (政府現地連絡対策室)	現地本部支援のため
③	富山防災センター	衛星通信車 (9-10-3)		H19. 3. 25	直轄 3/25 13:50	道の駅「いおり」で待機	現地状況通信のため
				H19. 3. 25	石川県 3/25 17:20	能登空港	
				H19. 3. 25	石川県	旧門前町役場	
				H19. 3. 25~H19. 3. 26	石川県 3/25 23:20	R249志賀町深谷	
				H19. 3. 26~H19. 3. 27	直轄	富山防災センターで待機	
				H19. 3. 27~H19. 4. 28	石川県	R249八世乃洞門	崩壊現場状況通信のため
④	富山防災センター	照明車 (10-1408)	2 kW × 4 灯	H19. 3. 25	直轄 3/25 13:50	道の駅「いおり」で待機	夜間作業のため
				H19. 3. 25	石川県 3/25 17:20	能登空港	
				H19. 3. 25~H19. 3. 26	石川県	R249輪島市大野町	
				H19. 3. 27	石川県	R249八世乃洞門	崩壊現場状況通信のため
				H19. 3. 28~H19. 3. 31	石川県	R249輪島市打越町	
				H19. 4. 1~H19. 4. 6	石川県	R249輪島市深見	
				H19. 4. 7~H19. 4. 17	石川県	R249輪島市大野町	
				H19. 4. 20~H19. 5. 11	石川県	R249輪島市大川	
H19. 6. 11~H19. 11. 30	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	夜間作業のため				

7-3 ヘリコプター・災害対策用機械等の出動状況

番号	事務所名	車両		期間	要請者 及び要請時間	出動場所	出動理由
		名称	規格				
⑤	富山河川国道事務所	照明車 (11-4419)	2kW×6灯 2柱式	H19.3.25	直轄 3/25 13:50	道の駅「いおり」で待機命令	夜間作業のため
				H19.3.25	石川県 3/25 17:20	能登空港	
				H19.3.25~H19.3.28	石川県	R249輪島市打越町	
				H19.3.30~H19.4.4	石川県	R249輪島市大野町	
				H19.4.6~H19.4.27	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	災害復旧支援
⑥	富山河川国道事務所	照明車 (18-4405)	2kW×6灯 2柱式	H19.3.25	直轄 3/25 13:50	道の駅「いおり」で待機	夜間作業のため
				H19.3.25	石川県 3/25 17:20	能登空港	
				H19.3.25~H19.3.27	石川県	R249輪島市洪田	
				H19.3.27	石川県	R249八世乃洞門	ロックシェッド崩壊のため
				H19.3.27~H19.4.5	石川県	R249輪島市大野町	
H19.4.6~H19.4.20	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	災害復旧支援				
⑦	上越防災支援センター	衛星通信車 (11-10-1)		H19.3.25~H19.3.26	直轄 3/25 13:50	富山防災センターで待機	現地状況通信のため
				H19.3.26~H19.4.1	石川県	旧門前町役場	
				H19.4.1~H19.4.5	石川県	R249輪島市大野町	現地状況通信のため
				H19.4.5~H19.4.9	石川県	能登空港で待機	
				H19.4.9~H19.4.15	直轄	復旧支援派遣本部	復旧支援派遣班の通信のため
H19.4.15~H19.4.24	直轄	能登空港で待機					
⑧	上越防災支援センター	照明車 (10-4412)	2kW×6灯 ブーム式	H19.3.25	直轄 3/25 13:50	富山防災センターで待機	夜間作業のため
				H19.3.25~H19.3.27	直轄 3/25 17:30	道の駅「いおり」で待機	
				H19.3.27~H19.3.29	直轄3/27	七尾除雪ステーションで待機	
				H19.4.6~H19.4.27	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	夜間作業のため
				H19.4.27~H19.5.21	石川県	富山防災センターで待機	
⑨	新潟防災センター	橋梁点検車 (02-1390)	歩廊式	H19.3.25~H19.3.26	直轄 3/25 15:00	石川県道路公社(羽咋基地)	橋梁点検のため
				H19.3.26~H19.3.28	石川県道路公社	能登有料道路	橋梁点検のため
				H19.3.28~H19.3.30	石川県道路公社	石川県道路公社(羽咋基地)	
				H19.3.30~H19.4.15	直轄3/29 15:40	富山防災センターで待機	
				H19.4.15~H19.5.1	石川県道路公社	石川県道路公社(羽咋基地)	
⑩	高田河川国道事務所	照明車 (11-4418)	2kW×6灯 2柱式	H19.3.25~H19.3.27	直轄 3/25 17:30	道の駅「いおり」で待機	夜間作業のため
				H19.3.27~H19.3.29	直轄 3/27	七尾除雪ステーションで待機	
⑪	新潟防災センター	照明車 (03-4830)	1kW×8灯	H19.3.25~H19.3.30	直轄 3/25 17:30	富山防災センターで待機	夜間作業のため
				H19.4.6~H19.4.7	直轄 4/6 9:30	富山防災センターで待機	
				H19.4.7~H19.4.27	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	夜間作業のため
				H19.4.27~H19.5.21	石川県	富山防災センターで待機	
⑫	新潟防災センター	照明車 (09-1406)	2kW×4灯	H19.3.25~H19.3.30	直轄 3/25 17:30	富山防災センターで待機	夜間作業のため
				H19.4.6~H19.4.7	直轄 4/6 9:30	富山防災センターで待機	
				H19.4.7~H19.4.20	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	夜間作業のため
				H19.4.20~H19.5.21	石川県	富山防災センターで待機	
⑬	金沢河川国道事務所	照明車 (11-4420)	2kW×6灯 2柱式	H19.3.25~H19.3.26	直轄(事務所) 3/25 20:00	穴水道路此木地先で待機 (橋梁調査)	夜間作業のため
				H19.3.26~H19.3.27	直轄 3/26 13:40	道の駅「いおり」で待機	
				H19.3.27~H19.3.29	直轄 3/26 13:40	七尾除雪ステーションで待機	
				H19.4.10~H19.4.20	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	災害復旧支援
⑭	富山防災センター	待機支援車 (11-10-2)	バス型	H19.3.26~H19.4.10	直轄 3/26 02:05	輪島市役所	現地本部支援のため
				H19.4.10~H19.4.24	直轄 4/10 09:00	能登空港で待機	
⑮	新潟防災センター	対策本部車 (09-4404)	拡幅型	H19.3.27~H19.3.28	直轄 3/27	富山防災センター	現地本部支援のため
				H19.3.28~H19.4.25	直轄 3/28 11:00	輪島市役所	現地本部支援のため

番号	事務所名	車 両		期 間	要請者 及び要請時間	出動場所	出動理由
		名 称	規 格				
⑯	上越防災センター	対策本部車 (11-10-2)	拡幅型	H19. 3. 27~H19. 3. 28	直轄 3/27	富山防災センター	現地本部支援のため
				H19. 3. 28~H19. 3. 31	直轄 3/28 11:00	国民宿舎「輪島荘」	現地本部支援のため
				H19. 3. 31~H19. 4. 24	直轄 3/31 14:00	能登空港で待機	
⑰	新潟防災センター	待機支援車 (8-10-1)	バス型	H19. 3. 27~H19. 3. 30	直轄 3/27	富山防災センター	現地本部支援のため
⑱	上越防災センター	待機支援車 (11-10-4)	バス型	H19. 3. 27~H19. 3. 28	直轄 3/27	富山防災センター	現地本部支援のため
				H19. 3. 28~H19. 4. 10	直轄 3/28 11:00	輪島市役所	現地本部支援のため
				H19. 4. 10~H19. 4. 24	直轄 4/10 09:00	能登空港で待機	
⑲	新潟防災センター	衛星通信車 (07-4410)		H19. 3. 28~H19. 3. 31	直轄 3/28 11:15	国民宿舎「輪島荘」	現地本部支援のため
				H19. 3. 31~H19. 4. 5	直轄 3/31 14:00	能登空港で待機	
				H19. 4. 5~H19. 4. 28	石川県	R249輪島市大野町	現地状況通信のため
⑳	北技 富山出張所	可搬式照明装置 2基	0.4kW×2灯	H19. 4. 1	直轄 3/31 20:46	能登空港	夜間作業のため
㉑	新潟防災センター	遠隔操縦式バックホウ (11-5-2)	0.8m ³	H19. 4. 4~H19. 5. 21	石川県	R249八世乃洞門	崩壊現場復旧作業のため
㉒	富山防災センター	遠隔操縦式バックホウ (11-5-3)	1.4m ³	H19. 4. 4~H19. 5. 21	石川県	R249八世乃洞門	崩壊現場復旧作業のため
				H19. 5. 21~H19. 10. 3	輪島市	輪島市道 道下深見線	崩壊現場復旧作業のため
㉓	上越防災支援センター	遠隔操縦式バックホウ (12-5-1)	1.4m ³	H19. 4. 9~H19. 10. 3	輪島市	輪島市道 道下深見線	崩壊現場復旧作業のため
㉔	北技 富山出張所	可搬式照明装置 1基	0.4kW×2灯	H19. 4. 5~H19. 4. 6	石川県	R249輪島市大野町	夜間作業のため
				H19. 4. 7~H19. 4. 18	石川県	R249輪島市深見	
㉕	信濃川河川事務所	照明車 (17-4401)	2kW×6灯 2柱式	H19. 4. 10~H19. 4. 27	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	夜間作業のため
㉖	信濃川河川事務所	照明車 (18-4404)	2kW×6灯 2柱式	H19. 4. 10~H19. 4. 27	石川県	石川県道路公社(羽咋基地)	夜間作業のため

3. 通信設備の稼働状況

(1) 初動時の情報収集

1) CCTVカメラ

直轄において通信設備の被害がなく、停電による機能停止もなかったことからCCTVカメラによる初動の被害状況把握が有効に機能した。各事務所において、被災後数時間で直轄施設に大きな被害がないことを確認でき、記者発表することができた。

2) ヘリテレ

被災状況を迅速かつ広域的に把握するため、発災当日から3月30日にかけて、ほくりく号、きんき号及び海上保安庁のヘリコプターにより、上空からの状況把握と情報収集を実施した。上空から撮影した映像はリアルタイムで北陸地方整備局災害対策本部に送信し状況把握を行うとともに、国土交通省本省、石川県庁等に配信を行った。

発災直後は応援機を含めた3機のヘリコプターが同時に被災地域での情報収集を行うこととなったが、被災地域周辺は平成18年度のヘリテレ基地局整備によりヘリテレ2機同時受信が可能なエリアを含んでいたので、2機同時受信を行いつつ受信を切り替えながらヘリテレ3機同時運用を行った。



写真7-3-5 ほくりく号(左)、袖ヶ浦地先ヘリテレ画像(右)

(2) K-COSMOSの稼働状況

富山統制局ゾーンにおける通信回数について、地震発生当日から7日間と発生前の7日間を比較して示す。地震発生直後の点検報告、状況報告等のため通話回数が増えている。

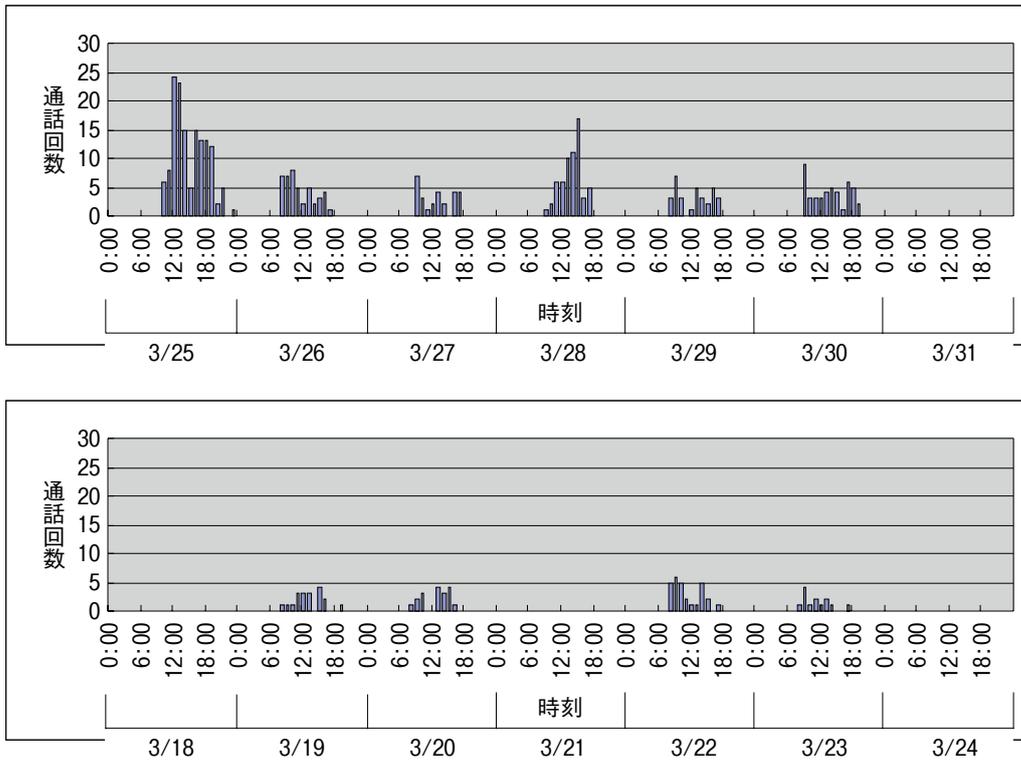


図7-3-1 K-COSMOS通話回数(富山統制局ゾーン)

(3) 通信事業者の稼働状況

通信事業者の被害状況、通信規制状況等について、総務省発表資料によると次のとおり。

区分	事業者	被害状況等
固定電話	NTT西日本	① 伝送路1箇所が断となったが、3.25(日)19:36応急ケーブルにより回復済み ② 発着信規制を実施したが、3.25(日)14:09までにすべて解除 ③ 富山、福井エリアで、ひかり電話からの発着信がしづらい状況となったが、3.25(日)20:45までにすべて復旧
	NTTコミュニケーションズ	○ 富山、福井エリアへの通信規制を実施したが、3.25(日)14:05までにすべて解除
	KDDI	○ 石川県内及び富山県内への着信規制を実施したが、3.25(日)14:17までにすべて解除
	ソフトバンクテレコム	○ 石川県内において、伝送路障害により一部回線が停止したが、3.25(日)16:06までにすべて復旧
携帯電話	NTTドコモグループ	○ 石川県及び新潟県で規制を実施したが、3.25(日)15:19までにすべて解除
	KDDI	○ 石川県及び富山県で発信規制を実施したが、3.25(日)14:47までにすべて解除
	ソフトバンクモバイル	① 3.25(日)20:00頃から、停電のため、石川県内の基地局が停波したが、仮設局の設置により、3.30(金)22:50までにすべて復旧 ② 石川県金沢市、白山市、石川郡野々市町、能美市及び河北郡内灘町において第3世代携帯電話からの発着信がしづらい状況(通話のみ)が発生していたが、3.25(日)15:01までにすべて復旧 ③ 北陸地区で規制を実施したが、3.25(日)15:25までにすべて解除

(H19.12.3 13:00現在総務省発表:平成19年能登半島地震による被害状況等について【第19報】より抜粋)

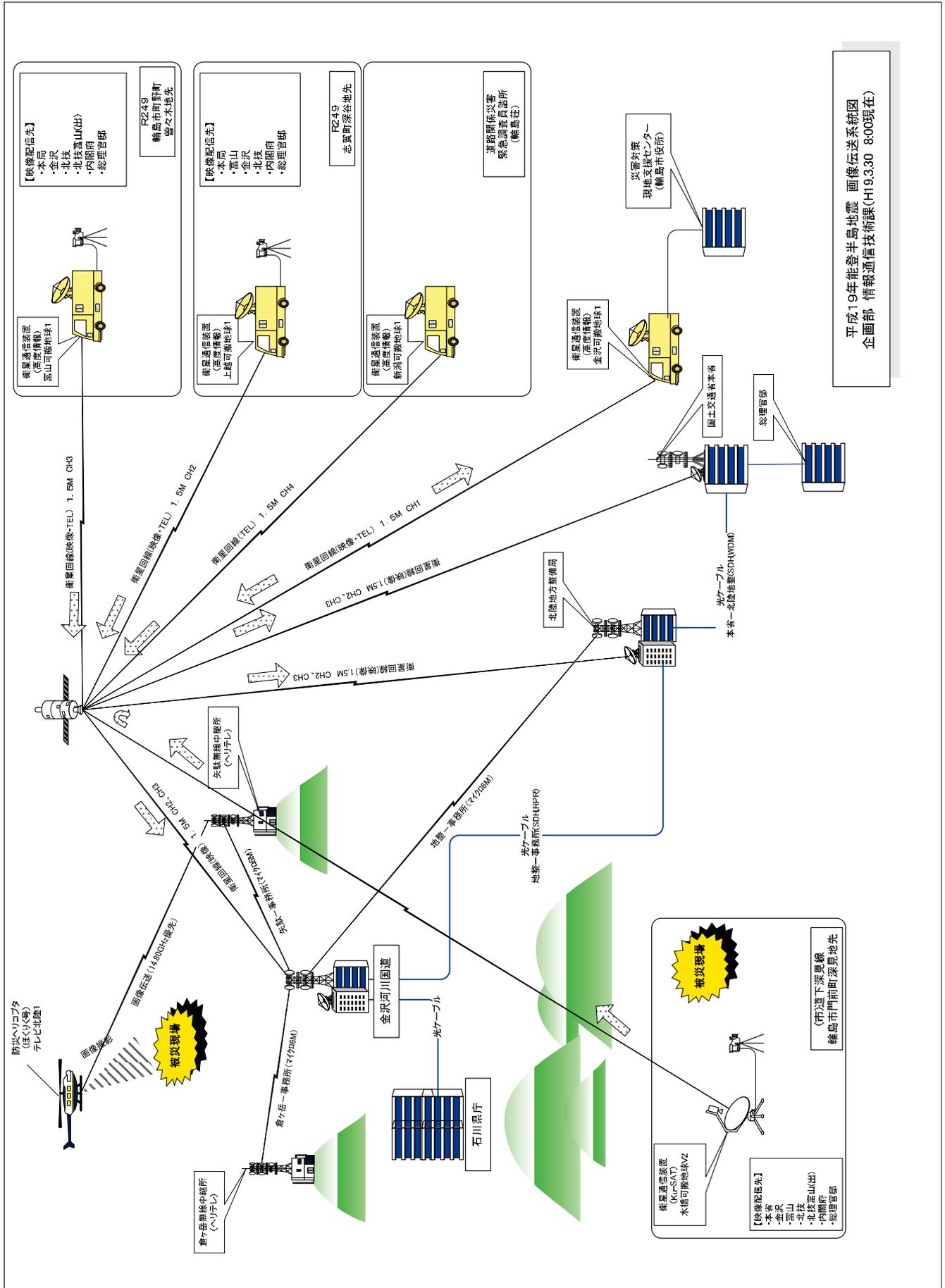


図7-3-2 画像伝送系統図

3. 仮設トイレ

(1) 経緯

北陸地方整備局は、輪島市から仮設トイレの要請を受けて「(社)日本道路建設業協会北陸支部」に仮設トイレ30基の調達・提供を依頼し、了解を得た。

(2) 搬入実績

表7-3-1 仮設トイレの搬入実績

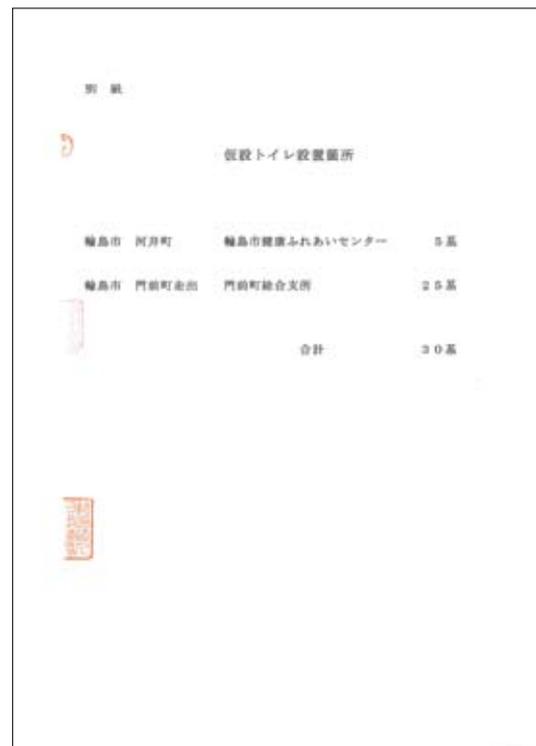
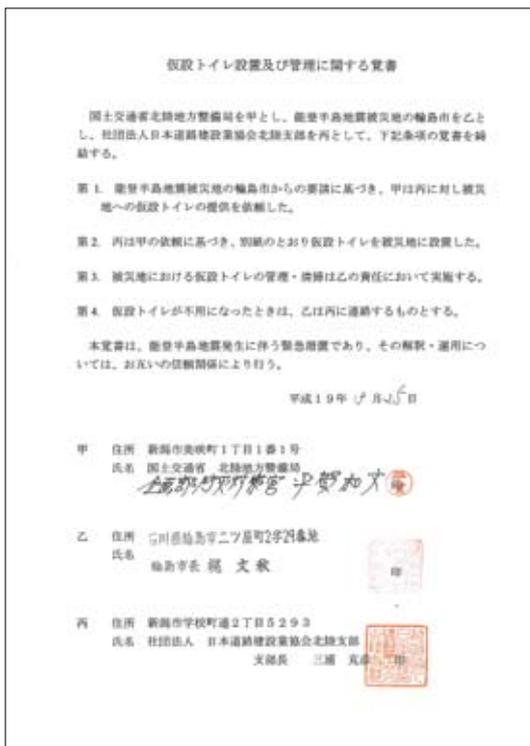
調達・提供機関	搬入実績		搬入場所
	搬入日	数量	
(社)日本道路建設業協会 北陸支部 北川ヒューテック	3.26	5	健康ふれあいセンター
		25	門前町総合支所
(合計)		30	

(3) 返却

・返却日：4月9日



写真7-3-1 仮設トイレ設置状況



第4節／バイク調査隊

1. バイク調査隊の現状

平成16年に起こった新潟県中越地震は、平地から中山間地にかけての道路の被災が甚大であったため、自動車による点検等に支障が生じた。その経験を踏まえ、機動性の高いバイク、自転車を道路関係事務所に配備するとともに、平成18年6月にバイク調査隊を編成した。

バイク調査隊の調査員登録数は75名(H19.7.19現在)。能登半島地震が起こった平成19年3月25日時点でも総数は同じであった。調査用のバイクは各事務所とも2台ずつ配備済みで、適宜訓練を実施している。

調査員の登録状況や訓練の様子等について表7-4-1、写真7-4-1に示す。

表7-4-1 調査員登録及びバイク配備状況

所 属	調査員登録数(人)		バイク配備数(台)		
	H18年度	H19		50cc	250cc
道路部	7	6	0	0	0
高田河川国道事務所	12	10	2	2	0
羽越河川国道事務所	4	5	2	2	0
長岡国道事務所	8	10	2	2	0
新潟国道事務所	16	14	2	1	1
富山河川国道事務所	10	9	2	2	0
金沢河川国道事務所	18	21	2	1	1
合 計	75	75	12	10	2

※H19の調査員登録数は7.19現在、バイク配備数はH19.3末現在



写真7-4-1 バイク調査隊の訓練状況

2. 能登半島地震における活動状況

輪島市門前町深見地区では、市道の土砂崩壊によって37世帯(87名)が孤立し、ほかにも法面・路肩の崩壊等で周辺は自動車による調査ができない状態であった。そこで、金沢河川国道事務所は地震発生翌日の3月26日、国土交通省では初めての取り組みとしてバイク調査隊2名(及び自転車調査隊2名)を現地へ派遣し、現場の被災状況を把握した。

バイク調査隊の活動状況等について写真7-4-2に示す。



写真7-4-2 バイク調査隊の活動状況

第5節／各種委員会等

復旧対策の実施にあたっては、工法の検討や技術的指導・助言を得ることなどを目的に、各種の委員会等が設けられた。それらの名簿を以下に示す(氏名、役職・肩書は当時のもの)。

●国道249号「八世乃洞門」復旧検討会

	氏名	役職・肩書
委員長	川村 國夫	金沢工業大学環境土木工学科 教授
委員	榎谷 浩	金沢大学大学院自然科学研究科 教授
	伊藤 正秀(※)	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所長
	蓮見 有敏	※途中で異動
	浅井 健一	独立行政法人土木研究所 地質研究室 統括主任研究員
	山下 武秋	石川県土木部 技監
	国田 雅人(※)	石川県奥能登土木総合事務所長
	高野 哲男	※途中で異動
	盛本 誠一	石川県土木部 道路整備課長
事務局	石川県土木部道路整備課	

●能登有料道路復旧工法検討委員会

	氏名	役職・肩書	土工部会	橋梁部会
委員長	川村 國夫	金沢工業大学環境土木工学科 教授	●	
委員	大田 秀樹	東京工業大学大学院理工学研究科 教授	○	
	鳥居 和之	金沢大学大学院自然科学研究科 教授		●
	宮島 昌克	金沢大学大学院自然科学研究科 教授	○	
	松尾 修	独立行政法人土木研究所 耐震研究グループ長	○	
	玉越 隆史	国土技術政策総合研究所 道路構造物管理研究室長		○
	運上 茂樹	独立行政法人土木研究所 耐震研究グループ 耐震チーム 上席研究員		○
	山下 武秋	石川県土木部 技監	○	○
	二口 俊郎	石川県道路公社 理事長	○	○
オブザーバー	信太 啓貴	北陸地方整備局 道路部 道路計画課長	○	○
	和田 日朗	北陸地方整備局 富山河川国道事務所 事業対策官	○	○
事務局	鶴井 秀樹	石川県土木部 道路建設課長	○	○
	高橋 裕之	石川県土木部 道路建設課担当課長	○	○
	松田 洋一郎	石川県土木部 道路建設課長補佐	○	○
	観音 誠一	石川県道路公社 事業部長	○	○
	奥本 信隆	石川県道路公社 事業部 維持管理課長	○	○
	河西 敏幸	石川県道路公社 事業部 技術課長	○	○

(●は部会長)

1. 国道249号「八世乃洞門」復旧検討会

表7-5-1 委員名簿

役 職	氏 名
金沢工業大学環境土木工学科教授	委員長 川村 國夫
金沢大学院自然科学研究科教授	榭谷 浩
北陸地方整備局 金沢河川国道事務所長	伊藤 正秀(異動) 蓮見 有敏
土木研究所 地質研究室 統括主任研究員	浅井 健一
石川県土木部 技監	山下 武秋
石川県奥能登土木総合事務所長	国田 雅人(異動) 高野 哲男
石川県土木部 道路整備課長	盛本 誠一

事務局 石川県土木部道路整備課

2. 能登有料道路復旧工法検討委員会

表7-5-2 委員名簿

役 職	氏 名	土工部会	橋梁部会
金沢工業大学環境土木工学科教授	委員長 川村 國夫	●	
東京工業大学大学院理工学研究科教授	大田 秀樹	○	
金沢大学大学院自然科学研究科教授	鳥居 和之		●
金沢大学大学院自然科学研究科教授	宮島 昌克	○	
土木研究所 耐震研究グループ長	松尾 修	○	
国土技術政策総合研究所 道路構造物管理研究室長	玉越 隆史		○
土木研究所 耐震研究グループ 耐震チーム 上席研究員	運上 茂樹		○
石川県土木部 技監	山下 武秋	○	○
石川県道路公社 理事長	二口 俊郎	○	○

●は部会長

表7-5-3 オブザーバー名簿

役 職	氏 名	土工部会	橋梁部会
北陸地方整備局道路部 道路計画課長	信太 啓貴	○	○
富山河川国道事務所 事業対策官	和田 日朗	○	○

表7-5-4 事務局名簿

役 職	氏 名	土工部会	橋梁部会
石川県土木部 道路建設課長	鶴井 秀樹	○	○
石川県土木部 道路建設課担当課長	高橋 裕之	○	○
石川県土木部 道路建設課長補佐	松田洋一郎	○	○
石川県道路公社 事業部長	観音 誠一	○	○
石川県道路公社 事業部維持管理課長	奥本 信隆	○	○
石川県道路公社 事業部技術課長	河西 敏幸	○	○

第6節／観光被害への対策(国土交通省)

能登半島は、日本海や棚田といった豊かな自然、農村風景、温泉などを観光資源としている。しかし、春先の半島を襲った地震による風評被害が、地震発生から1カ月が過ぎ、被災地の温泉や観光施設もほぼ復旧したにも関わらず、客足を元に戻さなかった。

そこで、能登半島地域の重要な産業である観光を支援するため、国土交通省は、石川県が実施する「能登半島地震風評被害払拭キャンペーン」と連携し、国土交通省のホームページで観光情報を提供する他、全国の道の駅等で27日から能登半島地域の観光キャンペーンポスターの掲示を行う等風評被害対策を行った。

石川県は、能登半島の観光地が地震被害から立ち直ったことのPRとして、俳優の西田敏行さんと三国連太郎さんに快諾を得て、新聞やラジオの広告で観光キャンペーンポスター「元気宣言、能登。」を宣伝した。これは平成18年夏に公開された、人気映画「釣りバカ日誌」シリーズ第19作の舞台が能登半島だったことによる。



図7-7-1 「元気宣言、能登。」の観光ポスター(石川県制作)